

第46期全日本民主医療機関連合会 MIN-IREN

職員育成ニュース No.19

発行:2025年11月19日 /職員育成部事務局(部内資料)



【総会スローガン】

● 平和的生存権・人間の尊厳を守る立場で、国連憲章・国際法に反する暴力・戦争を止めるために行動しよう

● 大軍拡を止め、多様性の尊重・ジェンダー平等といのち第一の政治を実現するために、共同組織とともに、地域から人権・公正の波を起こそう

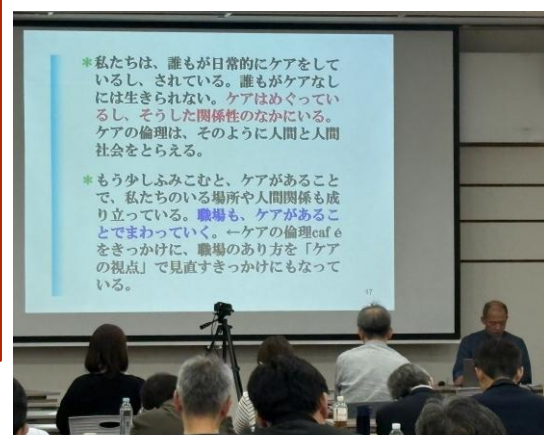
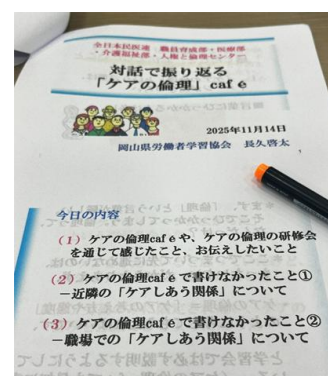
● 70年の歴史を力に、「ケアの倫理」を深め、「2つの柱」の全面実践で、「人権の砦」たる民医連事業所を守り、発展させよう

学びました **対話で振り返る「ケアの倫理」café** 講師:長久啓太さん

ケアから社会を構想しなおそう

11月14日(金)午前中、全日本民医連専門部会の時間帯に長久啓太さんをお招きして、学習会を開催。長久さんは『近代社会にとって、あるいは資本主義社会にとって、『ケアの倫理』が“異質”だからこそ、今の行き詰まった社会の状況を変えていく原動力になる』という小川公代さん(上智大学教授)の言葉も引きながら、ケアという営みは資本主義のなかでは評価されず、冷淡な扱いを受けるが、この評価されないというケアの営みそのものに、経済活動や効率、「自立すること」を第一に考える社会規範への抵抗の契機がある。「異質」だからこそ、「あたりまえ」を疑うことができ、ケアの倫理がいまの社会を変革していく重要な「ものさし」のひとつになるのだと語られ。利潤を追い求める経済から、人びとのニーズの充足を目的とした経済へ。自己責任論から、相互依存の人間社会へ。効率や生産性の追求から、誰もが自分のペースで生きられる社会へ。ケアを、政治の表舞台へ引き上げよう。どんな人の「声」も聴き、対話する、民主主義や社会をつくろう、と呼びかけ、ケアから社会を構想しなおしていくという、この視点を大きく広げていきたいと強調されました。

この企画は人権と倫理センター・医療部・介護福祉部・職員育成部が共催して開催し、フロアからもこの間のCaféの取り組みによる職場や職員の変化、民医連の共同のいとなみ論との関連、まちづくりなどのコミュニティにおけるケアの意味などについて意見交換がなされました。



学習会の動画と資料をアップロードしました！

職員のページ> 職員育成部(JB)> 職員育成動画の部屋

https://www.min-iren.gr.jp/news-press/20250929_21293.html

ID PASS は、県連事務局にご照会ください。

長久さんのお話し本体は60分程度です。
その後参加者と講師とのやりとりが続きます。



職員育成活動全国交流集会への
問題提起を添付します。

ホームページにも掲載します。

https://www.min-iren.gr.jp/care_shiryo_bunken

※11/25まで参加申し込みを受付けます。
全民医発(46)第ア-838号